

教育だより

発行: 芦別市教育委員会学務課

☎0124-27-7586

目次	1面	令和4年度芦別市における学校教育の重点
	2面	令和4年度教育予算について、令和6年4月に中学校を統合します
	3面	令和3年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果について
	4面	リレーでつなぐ学校紹介(星槎国際高校)、小中学生へ校歌DVD等を寄贈

令和4年度芦別市における学校教育の重点について

本市では、芦別市教育大綱の基本目標である「地域とともに、学ぶよろこびを実感できるまち」の実現に向けて、毎年度、芦別市学校教育推進計画を策定し、この計画において4つの重点目標を掲げて学校教育活動に取り組んでいます。

1 学ぶ力の育成

☆ 子ども一人ひとりが自ら課題を見つけ、学び、解決するために必要な「学ぶ力」の育成を図ります。

- 9年間の学びの連続性を踏まえた、質の高い教育環境づくりを目指す小中一貫教育の推進
- 小中学校で統一した学習スタイル「芦別スタンダード」の確立による、深い学びの実現
- 小学校高学年における教科担任制の実施による、専門性を高めた授業の実施
- 学習サポート教員や特別支援教育学習支援員の配置等による特別支援教育の充実
- 1人1台のタブレット端末を活用した学習の推進
- 家庭と連携した「家庭学習の習慣化」の取組強化

2 豊かな心の育成

☆ 子ども一人ひとりの人格のより良い発達を促すため、生命を大切にすると他を思いやる心など、「豊かな心」の育成を図ります。

- 「考え、議論する」道徳授業の充実
- 地域の教育資源を活用し、郷土に愛着を持つ子どもの育成を目指したふるさと教育の推進
- いじめ根絶に向けた取組や、不登校児童生徒への支援の充実
- 朝読書や読書週間を通して読書に親しみをもち、読書の楽しさを実感する取組の推進

3 健やかな身体の育成

☆ 子ども一人ひとりが生涯を通じて運動に親しみ、積極的に心身の健康の保持増進を目指す能力の育成を図ります。

- 新型コロナウイルス感染症についての正しい理解、感染予防の徹底
- 各学校の特色を生かした体力づくりの推進
- 「早寝 早起き 朝ごはん」運動などの取組による望ましい生活習慣の定着
- 市の保健師や関係機関との連携による健康教育の充実
- 栄養教諭による食育指導の推進



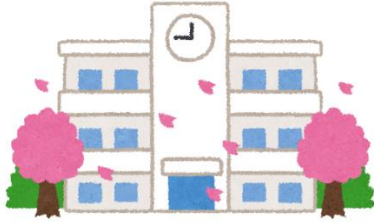
4 地域に開かれた信頼される学校づくりの推進

☆ 学校、家庭、地域の三者が情報を共有し、より一層信頼される学校づくりを目指します。

- コミュニティ・スクールを活用した保護者や地域住民の学校運営への参画、協働体制の確立
- 「学校だより」や「教育だより」等による学校運営や教育活動の情報の共有化
- 学校関係者評価に基づく、学校経営の改善と充実

令和4年度教育予算について

本市の教育予算は、学校教育の充実や学力向上など、様々な取組を計画し、子どもたちがより良い教育環境の中で学校生活を送れるよう事業の目的に応じて予算を決めています。今年度実施する事業とその予算について、一部を紹介します。



- ◎**小中学校施設整備事業（771万円）**
芦別中学校屋外部室の更新に係る経費など。
- ◎**地域とともにある学校づくり推進事業（57万円）**
コミュニティ・スクールに関わる運営費など。
- ◎**外国語教育推進事業（699万円）**
小中学校に1名ずつ配置している外国語指導助手に関わる経費など。
- ◎**文化・体育活動振興事業（168万円）**
音楽発表会、芸術鑑賞会などの開催委託や、各種中体連の出場補助金に係る経費など。
- ◎**学力向上等事業（234万円）**
英語検定などの検定料助成、家庭学習用ドリル購入に係る経費など。
- ◎**特別支援教育推進事業（1,827万円）**
各学校に配置している学習支援員の経費など。
- ◎**就学援助事業（975万円）**
経済的理由により就学が困難な児童生徒の保護者に対して支給する学用品費の経費など。
- ◎**情報化教育推進事業（1,061万円）**
小中学校に整備しているコンピュータ環境の保守や、ICT支援員の配置に係る経費など。

【校務支援システムの導入】

学校における働き方改革の一環として、市内小中学校に校務支援システムを導入します。このシステムの導入により、教職員が子どもたちの成績や出欠状況をそれぞれのパソコンで一括管理することができたり、通知表や時間割などの作成を容易にすることができます。これにより、日々の業務の軽減を図り、子どもたちと向き合う時間に重点を置くことで、よりきめ細やかな指導を実現し、学校経営の改善と教育の質の更なる向上につなげます。



より良い教育環境の確保のため令和6年4月に中学校を統合します

教育委員会では、令和3年3月に、市内の人口減少に歯止めがかからない中で児童生徒数が減少していることから、次代を担う児童生徒の健全育成に向けて、より良い教育環境と望ましい規模の集団を確保することを目的として、芦別市立小中学校配置基準の見直しを行いました。見直しの内容は、中学校については、現在の2校から1校とし、小学校については、当面、現在の2校体制を維持しますが、今後の児童数の減少動向を踏まえて統合を判断し、将来における市内の小中学校数は、小学校1校、中学校1校の2校体制とするものです。

市内の児童生徒数の推移と今後の見込み（単位：人）

年度		令和	令和	令和	令和	令和
		2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
小学校	児童	368	356	337	329	307
中学校	生徒	208	194	184	188	181
合計		576	550	521	517	488

※ 各年度5月1日現在の数（令和2、3年度は実数。他は3年5月時点での見込み数）

中学校の統合については、昨年、両中学校のPTAや地域町内会への説明会を開催するなどし、ご意見、ご要望を踏まえ、統合時期を令和6年4月1日と決定しました。

統合後の中学校は、現在の芦別中学校の校舎を活用することとしており、今後、両校のPTAや教職員などで学校統合準備委員会を設置し、統合に向けた準備を進めていきます。また、両校の生徒やPTAをはじめ、小学校間の交流を進め、児童生徒が新しい学校生活に期待を持って進んでいけるよう、円滑な学校統合を進めてまいりますので、市民の皆さんのご理解とご協力をお願いします。

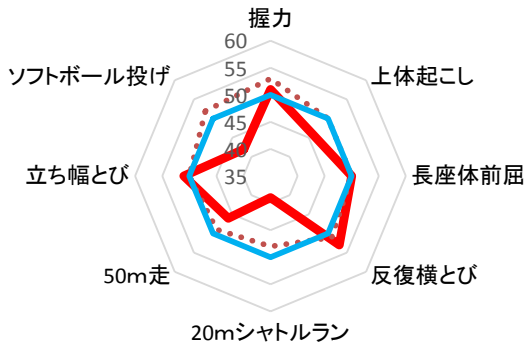
令和3年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果について

この調査は、文部科学省が全国の小学校5年生と中学校2年生を対象に、子どもたちの体力や運動能力、運動習慣などの状況を把握・分析するために毎年実施しているものです。本市でも、昨年の4月から7月にかけて実施しました。結果の詳細については、市の公式ホームページにも掲載していますので、是非ご覧ください。

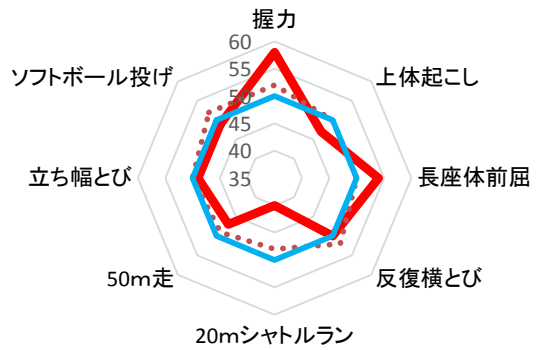
グラフは、全国を50とした場合の、北海道及び芦別市の数値を示したものです。



小学生男子

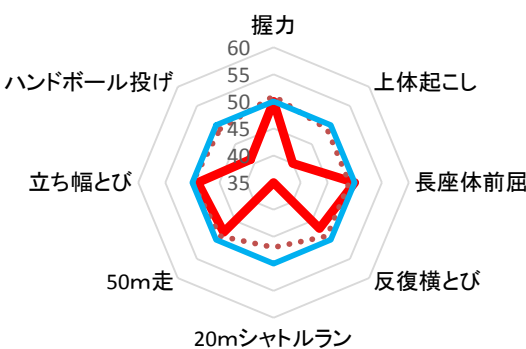


小学生女子

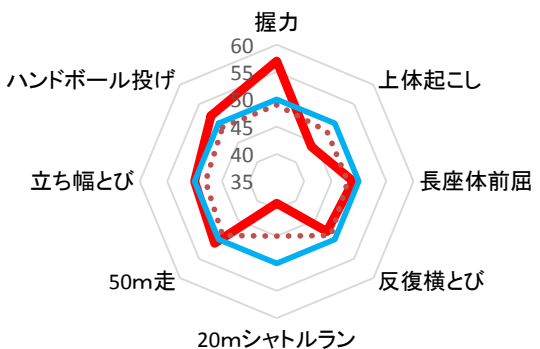


男子は「握力」「反復横とび」「立ち幅とび」、女子は「握力」「長座体前屈」が全国を上回っていました。「20mシャトルラン」が男女とも全国より大きく下回っていることから、持久力に課題があると言えます。

中学生男子



中学生女子



男子は「握力」「長座体前屈」、女子は「握力」「50m走」「ハンドボール投げ」が全国を上回っていました。「20mシャトルラン」が男女とも全国より大きく下回っていることから、中学生においても持久力に課題があると言えます。

調査結果は以上のとおりですが、同時に実施された運動習慣調査の児童生徒質問紙を見ると、「体育以外の土日の運動時間」が全国・全道と比べてかなり少なくなっていることが影響していると思われます。ご家庭でも今一度、土日の過ごし方について見直してみましょう。

体力向上に向けた取組み



これらの結果を受けて、教育委員会では以下のような取組を実施しています。

- ☆家庭と連携した「望ましい生活習慣」の定着
- ☆創意工夫を凝らした縄跳びなどの「一校一実践」の取組による体力の向上
- ☆各種スポーツ教室やスポーツイベントへの積極的な参加



体力の向上に向けて、継続的に取り組みましょう！



～リレーでつなぐ学校紹介～

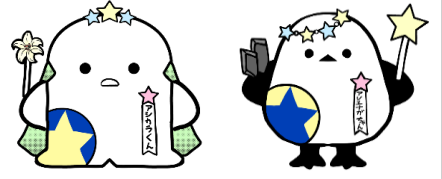
リレー方式で市内の教育機関の取組を掲載しています。



星槎×芦別 地域貢献プロジェクトを実施しました！

昨年度から芦別市の活性化を目的とした授業を取り入れ、様々な活動を行うことができました。

- ①花植活動…マリーゴールドを星形にするレイアウトを事前に考え、旭ヶ丘公園の花植えをしました。
- ②芦別駅の除草作業…除草作業をして、駅前がきれいになり、自転車がたくさん置けるようになりました。駅長さんも見に来てくださりました。
- ③ゆるキャラ作成…市の鳥「シジュウカラ」と市内で見られる「シマエナガ」をベースにし、市の花「ユリ」と星の降る里の「星」、昔、炭鉱で栄えた芦別なので「石炭」を持たせました。
芦別市の各施設などで見られると思います。



今後も芦別に密着した教育活動を行っていきます。

また、他にも全国の星槎では様々な活動を行っていますので、詳しくはHPをご覧ください。<https://seisa.ed.jp/ashi/>
星槎国際高等学校 芦別学習センター センター長 齋藤友仁

NPO法人奏楽(そら)から小中学生に校歌DVDとCDが寄贈

令和4年2月17日、NPO法人奏楽(そら)の岩崎弘昌理事長から、市内小中学校と芦別高校の校歌を収録したDVDとCDのセットが寄贈されました。

奏楽は、クラシック音楽の演奏家の団体として、「いつでも どこでも 音楽を！」をスローガンに、道内外で演奏活動を行っている団体ですが、コロナ禍で音楽の授業や行事で歌を歌うことができず、校歌を聴いたり、校歌を歌う機会が減っている子どもたちのために、プロの演奏家である奏楽のメンバーが校歌を演奏し、それを収録したDVDとCDのセットを児童生徒全員に無償でプレゼントする事業を行っています。この日は、収録した校歌を演奏したオーボエ奏者の岩崎理事長をはじめ、ピアノ奏者の前田朋子さん、バイオリン奏者の小林佳奈さんらが市役所を訪れました。



市長室で行われた贈呈式。右から4人目が岩崎理事長

各学校の校舎が印刷されたDVDとCDのセットは、学校を通じて令和3年度の在校生一人ひとりにプレゼントされたほか、令和4年度の新1年生にも贈られました。

また、贈呈されたDVD等は、市立図書館にも配置し、だれでも視聴できるようになっています。母校の校歌をお聴きになりたい方は、ぜひ利用してみてください。

保護者・地域の皆さまへ

教育よりは、本市の学校教育の現状や課題、さまざまな施策や取組などを広く市民の皆さんに知っていただき、情報を共有するため年3回発行しています。

本市の学校教育の向上に関するご意見を「郵送」、「ファックス」、「電子メール」(様式自由)にてお寄せください。

【送付先】〒075-8711 芦別市北1条東1丁目3番地 芦別市教育委員会学務課学校教育係

【電話】0124-27-7586 【ファックス】0124-22-9696

【電子メール】gakumu@city.ashibetsu.hokkaido.jp